

義肢装具士に必要な評価学～基礎編～

主催 一般社団法人 日本義肢装具士協会
研修委員会

義肢装具士の皆さん、臨床において「適合評価」を身体にフィットさせることだと思いませんか？医療職では対象者に対して最適な治療効果を判断するため「評価」を行います。他職種では評価学が確立されているにもかかわらず、補装具が介入する対象者支援では評価の学問体系が確立されていません。対象者がもつ問題や課題を解決・改善して効果的な介入と支援を実現するためには、義肢装具士として対象者を評価する方法について学ぶ必要があります。

他職種にその事例に対する補装具療法の考えや提案を伝えるためには、評価と介入の流れについて共通言語・共通認識を介した説明が必要です。このことから学問体系が確立されているセラピストなどの評価方法について学ぶことが求められます。

また、評価を取り入れた記録を日常化し、多くの義肢装具士がその記録を共有・活用することで、根拠に基づく義肢装具療法の実現へと導かれるものともなります。

今回は、その第一歩として、評価の定義を中心に症例を交えて理解し、臨床上的評価についてより実践的な知識を得ることができる内容を構成しました。

このセミナーを修了するころには、臨床における「適合評価」が“身体へのフィット”だけではないことに気づけるかと思います。日常の業務・義肢装具士としての基本を見直すため、また未来の自分の姿を見つけるためにも是非ご参加ください。

記

- 到達目標 : ①評価の定義と目的を理解できる。
②評価の構成要素と流れを理解したうえで、臨床において対象者に介入する際に評価に取り組むことができる。
- 内 容 : ①症例報告のための評価の必要性について
講 師 : 昆 恵介 先生：北海道科学大学 義肢装具学科 准教授 (PO)
- ②評価学概論Ⅰ（対象者の全体像をみる観点とは何か ～脳卒中患者を中心に～）
大西 忠輔 先生：伊南行政組合 昭和伊南総合病院
リハビリテーション技術科 兼地域先進リハビリテーションセンター(PO・PT)
国立研究開発法人 産業技術総合研究所外来研究員
- ③評価学概論Ⅱ（臨床に活かす評価の実際）
清水 新悟 先生：北海道科学大学 義肢装具学科 准教授 (PO・PT)
- ④症例から学ぶ評価の実例 ～異常動作に関する評価の臨床思考過程～
春名 弘一 先生：北海道科学大学 理学療法学科 講師 (PT)
- 日 時 : 平成 28 年 3 月 20 日 (日) 9:40～16:00 (9:15 受付開始)
- 会 場 : 国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟 第 1 ミーティングルーム
(東京都渋谷区代々木神園町 3 - 1)
※会場詳細については施設 HP をご確認ください。
- 定 員 : 100 名
- 参 加 費 : 正会員・購読会員¥6,000 - 学生会員¥3,000 - 非会員¥12,000 -
- 締 切 り : 平成 28 年 2 月 5 日 (金)
※応募期限は過ぎましたが、定員まで応募を受け付けます。(2/20 現在、残席 8 名)

以上

【申込方法】

<E-mail または FAX での参加申込>

E-mail または FAX にて参加申込ご希望の方は、必要事項（①会員非会員の別、②会員番号、③氏名、④所属先、⑤連絡先住所、⑥電話番号、⑦E-mail アドレス、⑧FAX 番号(※)）をご記入の上、下記申込受付先までお送りください。

※FAX でのお申込みの場合、「日本義肢装具士協会 研修セミナーFAX 申込書」をご使用ください。

<QR コードでの参加申込>

QR コードをスマートフォン等で読み取りアクセスすることで、申込フォームからの参加申込が可能です。フォームに入力するだけで簡単に申込手続きができます。



【 申込み受付先・問い合わせ先 】

一般社団法人 日本義肢装具士協会 南日本支部事務局
熊本総合医療リハビリテーション学院 義肢装具学科内

申込・問い合わせ先：笹川 友彦

セミナー幹事：保谷 純一

FAX : 096-380-0704

E-mail : sasakawa@kumareha.ac.jp